

令和5年度 入退院調整ルールづくり支援事業 入退院調整状況調査結果報告

【目的】

南和地域では、病院から在宅へのシームレスな移行に向けて、介護の必要な方が安心して入退院と在宅療養ができる環境づくりの一環として、平成31年2月に「入退院調整マニュアル」を作成し、入退院連携ルールの運用が開始された。

本調査は、南和地域のケアマネジャーから入退院調整ルールの活用状況について調査を行い、入退院時の医療と介護の連携について、その効果と課題を把握することを目的に実施する。

【概要】

○方法

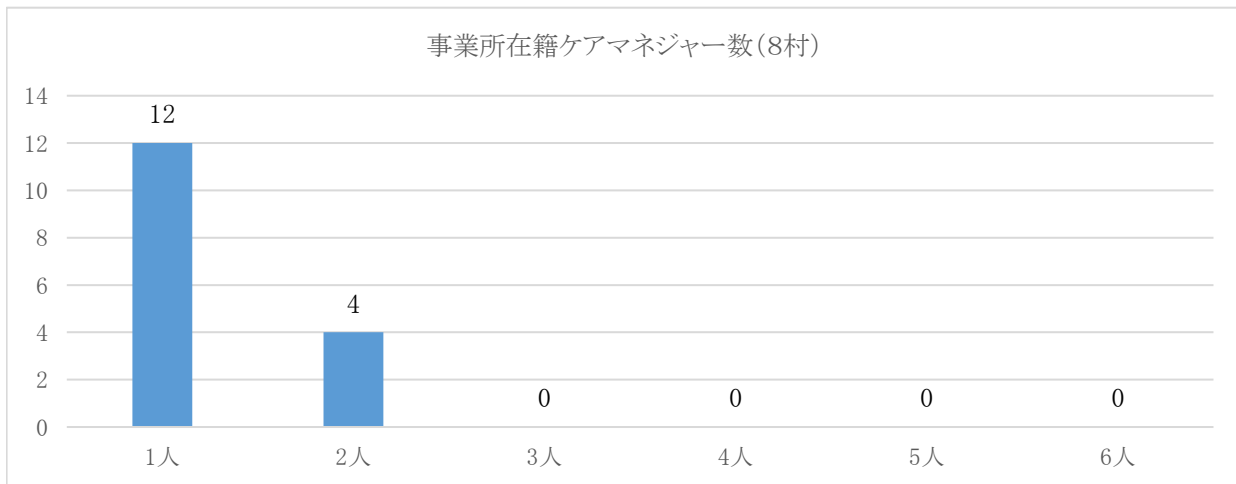
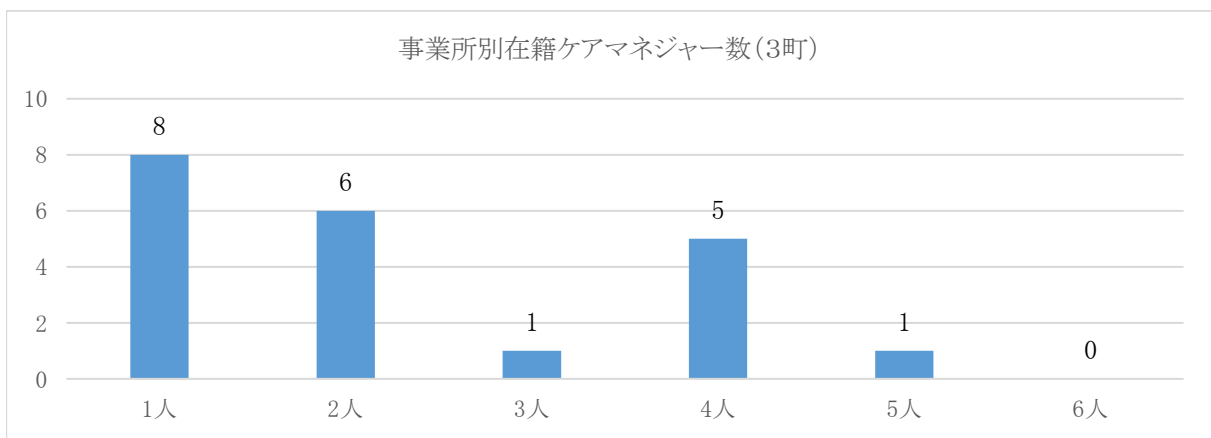
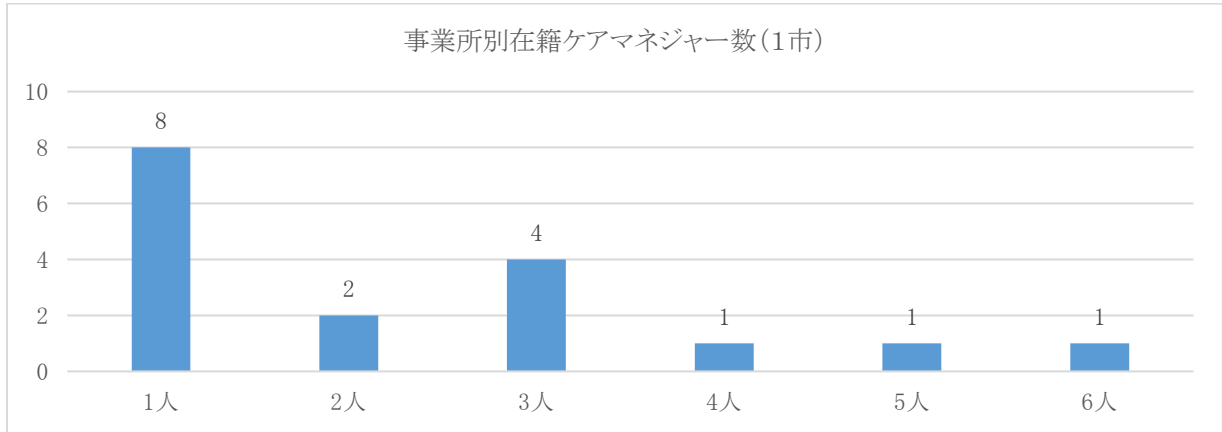
南和地域の事業所(ケアマネジャー)に調査票(別紙)を用い、担当するケースのうち、令和5年6月1日～6月30日の1カ月間に病院から退院したケースの退院調整の連絡状況と、入院したケースに関する入院時情報提供書の提出等についてアンケート調査を実施する。

項目	内容
調査期間	令和5年6月1日～6月30日
調査回収期間	令和5年7月1日～7月21日
対象地域・事業所	南和地域12市町村 [五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村 上北山村、川上村、東吉野村] 居宅介護支援事業所:44ヶ所 地域包括支援センター:12ヶ所 計56ヶ所
調査票回答者	対象事業所のケアマネジャー
回答事業所数(回収率)	居宅介護支援事業所:44ヶ所(100%) 地域包括支援センター:12ヶ所(100%) 計56ヶ所
ケアマネジャー回答者数	居宅介護支援事業所:85人 地域包括支援センター:22人 計107人

【結果】

市町村	各事業所のケアマネジャー数	1.現在の担当ケース				2.退院したケース				3-1.入院したケース			
		ケース数(計)	内訳			ケース数(計)	内訳			ケース数(計)	内訳		
			要介護 件数	要支援・ 総合事業 対象 者 件数	その他 件数		要介護 件数	要支援・ 総合事業 対象 者 件数	その他 件数		要介護 件数	要支援・ 総合事業 対象 者 件数	その他 件数
五條市	39	1410	930	457	23	44	36	6	2	48	38	9	1
吉野町	17	387	301	86	0	7	5	2	0	11	9	2	0
大淀町	21	608	383	218	7	28	17	9	2	27	18	9	0
下市町	10	232	130	99	3	4	3	1	0	8	5	3	0
黒滝村	2	29	24	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0
天川村	3	49	46	3	0	2	2	0	0	3	3	0	0
野迫川村	1	15	8	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0
十津川村	4	152	69	74	9	4	3	1	0	3	1	1	1
下北山村	2	35	20	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0
上北山村	1	11	8	3	0	1	0	1	0	1	0	1	0
川上村	2	36	36	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0
東吉野村	5	70	27	43	0	3	2	1	0	1	1	0	0
合計	107	3034	1982	996	56	96	71	21	4	104	77	25	2

※その他:介護保険申請中、未認定等



対象事業所は居宅介護支援事業所 44 箇所、地域包括支援センター12 箇所、ケアマネジャー回答者数は居宅介護支援事業所 85 人、地域包括支援センター22 人であった。対象地域全域に地域包括支援センターは設置されていたが、居宅介護事業所を有しない地域が 2 ヶ所あった。事業所別の在籍ケアマネジャー人数を 1 市 3 町 8 村ごとに見てみると、1 人 2 人の割合が多く、そのうち 1 市は全体の約 6 割 (59%)、3 町は全体の 6 割 (67%)、8 村は全体の 10 割 (100%) を占めていた。

【退院調整の状況】

●退院したケースの病院別件数(1市)

	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	21	17	4
五條病院	7	5	2
吉野病院	0	0	0
南和病院	1	1	0
県内病院	9	6	3
県外病院	5	3	2
合計(割合)	43	32(74%)	11(26%)

(注) 未回答 1 件は対象から除外

<その他県内病院の内訳>

	件数	連絡あり	連絡なし
奈良県立医科大学附属病院	1	0	1
大和橿原病院	1	0	1
香芝旭ヶ丘病院	1	1	0
奈良県総合医療センター	2	2	0
秋津鴻池病院	1	1	0
済生会御所病院	2	1	1
倉病院	1	1	0

<その他県外病院の内訳(抜粋)>

	件数	連絡あり	連絡なし
山本病院	1	1	0
橋本市民病院	3	2	1
羽曳野呼吸器センター	1	0	1

●退院したケースの病院別件数(3町)

	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	25	18	7
五條病院	2	2	0
吉野病院	5	5	0
南和病院	1	1	0
県内病院	4	2	2
県外病院	0	0	0
	37	28(76%)	9(24%)

(注) 未回答 2 件は対象から除外

<その他県内病院の内訳>

	件数	連絡あり	連絡なし
奈良県立医科大学附属病院	1	1	0
香芝生喜病院	1	0	1
病院名未記入	2	1	1

<その他県内病院の内訳(抜粋)>

	件数	連絡あり	連絡なし
高井病院	1	0	1
辻村病院	1	1	0
宇陀市立病院	1	1	0
平尾病院	1	0	1

●退院したケースの病院別件数(8村)

	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	5	4	1
五條病院	0	0	0
吉野病院	1	1	0
南和病院	0	0	0
県内病院	4	2	2
県外病院	3	1	2
	13	8(62%)	5(38%)

<その他県外病院の内訳(抜粋)>

	件数	連絡あり	連絡なし
新宮市立医療センター	1	0	1
勝浦温泉病院	1	0	1
紀南病院	1	1	0

1市3町8村の合計

	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	51	39 (76%)	12 (24%)
五條病院	9	7 (78%)	2 (22%)
吉野病院	6	6 (100%)	0 (0%)
南和病院	2	2 (100%)	0 (0%)
県内病院	17	10 (59%)	7 (41%)
県外病院	8	4 (50%)	4 (50%)
合計	93	68 (73%)	25 (27%)

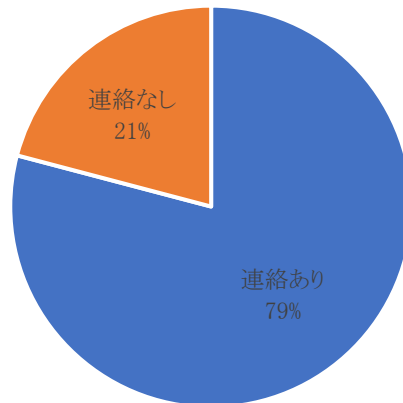
(注) 未回答3件は対象から除外

連絡があった医療機関（南和地域）は、1市32件（74%）、3町28件（76%）、8村8件（62%）であった。

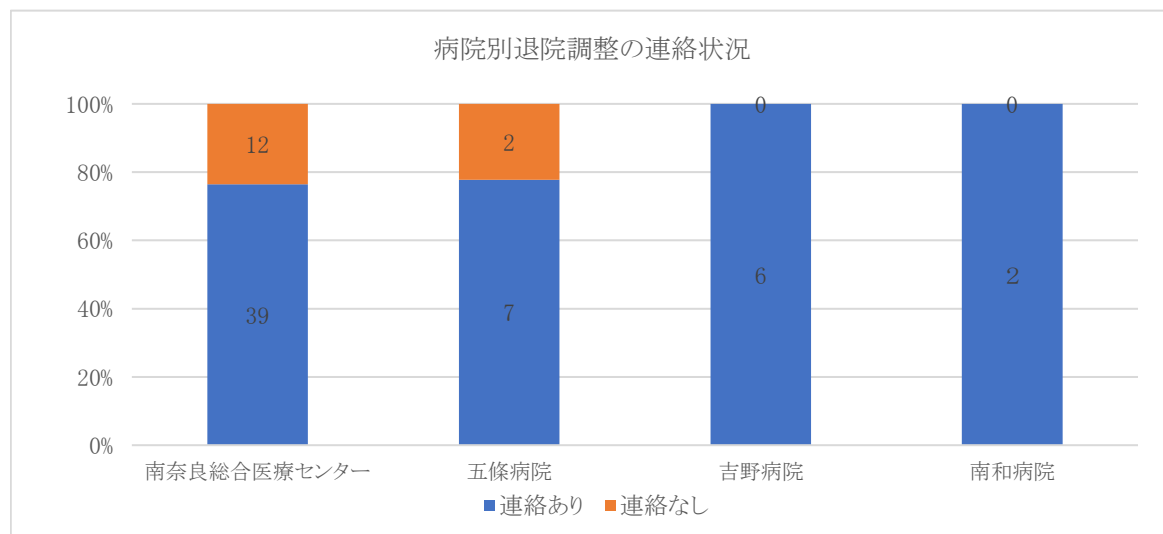
そのうち連絡があった南和地域4病院から退院したケースの連絡状況は、「連絡あり」が54件（79%）で、病院別に見てみると南奈良総合医療センターから連絡があったケースは39件（76%）、五條病院7件（78%）、吉野病院6件（100%）、南和病院2件（100%）であった。

南和地域以外の県内医療機関は17件で「連絡あり」が10件（59%）であった。県外の医療機関からの件数は8件で「連絡あり」が4件（50%）であった。

南和地域4病院から退院したケースの退院調整の連絡状況



病院別退院調整の連絡状況



●退院したケースの認定区分件数

	1市	3町	8村	合計
総合事業対象者	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	1 (1%)
要支援1	1 (2%)	4 (11%)	4 (31%)	9 (10%)
要支援2	5 (12%)	7 (19%)	0 (0%)	12 (13%)
要介護1	11 (26%)	4 (11%)	0 (0%)	15 (16%)
要介護2	7 (16%)	5 (14%)	3 (23%)	15 (16%)
要介護3	6 (14%)	7 (19%)	6 (46%)	19 (20%)
要介護4	7 (16%)	6 (16%)	0 (0%)	13 (14%)
要介護5	4 (9%)	1 (3%)	0 (0%)	5 (5%)
その他	2 (5%)	2 (5%)	0 (0%)	4 (4%)
合計	43 (100%)	37 (100%)	13 (100%)	93 (100%)

(注) 未記入3件は対象から除外

退院したケースの認定区分で最も多い対象者は、1市では要介護1 11人(26%)、3町は要介護3 7人(19%)、8村では要介護3 6人(46%)となっている。全体では要介護3が最も多く19人(20%)となっており、総合事業対象者の割合は低くなっている。

●病院からの連絡時期

	1市			3町			8村			合計
	要介護	要支援 事業対象者	その他	要介護	要支援 事業対象者	その他	要介護	要支援 事業対象者	その他	
退院当日	1	0	0	0	1	0	3	1	0	6 (9%)
1日前	6	0	0	3	2	0	1	0	0	12 (18%)
2日前	5	2	0	3	2	0	0	1	0	13 (19%)
3日前	2	0	0	6	4	0	1	0	0	13 (19%)
4日前	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2 (3%)
5日前	3	1	1	1	0	1	1	0	0	8 (11%)
6日前	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1 (1%)
7日前	3	1	0	2	0	1	0	0	0	7 (10%)
8日前	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 (1%)
9日前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1%)
10日前	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2 (3%)
11日前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0%)
12日前	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (3%)
13日前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1%)
14日前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1%)
合計	27	4	2	17	10	2	6	2	0	70 (100%)

病院からの連絡時期は、退院当日から6日前が55件(79%)と多く、そのうち退院1日前から3日前が全体の38件(54%)を占めており、7日前から14日前では15件(21%)となっている。

●退院調整に問題があった場合の理由

市町村	病院名	連絡の有無	時期	理由	対象者区分
五條市	南奈良総合医療センター	有	1日前	調整できる時間が少ない	要介護3
五條市	五條病院	有	12日前	在宅酸素の会社との連携がうまくいかなかった	要介護3
上北山村	南奈良総合医療センター	有	当日	調整できる時間が少ない	要支援1

退院調整に問題があったケースは3件で、3件とも南和地域の医療機関であった。連絡は有りが3件であった。理由は「調整できる時間が少ない」が最も多く、対象者は要介護3が多かった。

【入院調整の状況】

	入院情報提供書を提出したケース	入院後3日以内			入院後4～7日以内			入院後8日以上			入院情報提供書を提出できなかったケース						
		内訳			内訳			内訳				入院の連絡がなかった	短期入院のため	再入院で不要と判断した	電話で情報提供した	南和ルール以外の病院	その他
		要介護	要支援・総合事業	その他	要介護	要支援・総合事業	その他	要介護	要支援・総合事業	その他							
五條市	29	26	2	0	1	0	0	0	0	0	19	4	2	3	8	1	1
吉野町	11	9	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大淀町	21	13	3	0	3	2	0	0	0	0	6	2	0	2	1	0	1
下市町	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
黒滝村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天川村	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野迫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十津川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	0
下北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上北山村	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上村	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東吉野村	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	73	57	9	0	4	3	0	0	0	0	30	9	2	5	10	2	2

(注) 未記入1件は対象から除外

入院後ケアマネジャーから医療機関への連絡状況は全体で103件あり、そのうち30件が調整用紙を提出できなかったと回答している。入院情報提供書を提出したケースで最も多かったのが入院後3日以内の66件(89%)で、要介護件数が57件(78%)と最も多かった。

●病院へ提出できなかったケース(1市)

a.入院の連絡が無かったため	4
b.短期(検査等)入院のため	2
c.再入院(複数回入院)で不要と判断したため	3
d.電話で情報提供したため	8
e.南和ルール以外の病院へ入院したため	1
f.その他	1

→その他の詳細

- ・入院日から5日後に情報持参しようと連絡したが、すでに退院されていた。

●病院へ提出できなかったケース (3町)

a.入院の連絡が無かったため	4
b.短期(検査等)入院のため	0
c.再入院(複数回入院)で不要と判断したため	2
d.電話で情報提供したため	1
e.南和ルール以外の病院へ入院したため	0
f.その他	1

●病院へ提出できなかったケース(8村)

a.入院の連絡が無かったため	1
b.短期(検査等)入院のため	0
c.再入院(複数回入院)で不要と判断したため	0
d.電話で情報提供したため	1
e.南和ルール以外の病院へ入院したため	1
f.その他	0

入院後ケアマネジャーから医療機関へ連絡できなかったケースを1市3町8村別で見ると、1市は「d.電話で情報提供したため」が最も多かった。

3町は「a.入院の連絡が無かったため」が最も多かった。

8村は「a.入院の連絡が無かったため」[d.電話で情報提供したため]「e.南和ルール以外の病院」が共に多くなった。

【連携で良かった点】

	良いと感じた		感じなかった		どちらでもない		無回答	
五條市	29	74%	2	5%	8	21%	0	0%
吉野町	12	71%	1	6%	4	23%	0	0%
大淀町	17	81%	0	0%	4	19%	0	0%
下市町	8	80%	0	0%	2	20%	0	0%
黒滝村	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%
天川村	1	33%	0	0%	2	67%	0	0%
野迫川村	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%
十津川村	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%
下北山村	0	0%	0	0%	0	0%	2	100%
上北山村	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%
川上村	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%
東吉野町	4	80%	0	0%	1	20%	0	0%
合計	75	70%	3	3%	27	25%	2	2%

入退院連携で「良かった」と回答したケアマネジャーは75名で全体の70%であった。「良かったと感じなかった」は3名(3%)で、「どちらでもない」が27名(25%)、無回答2名(2%)であった。

●連携できて良かったと感じた意見

1. 連絡に関すること

[1 市]

- ・入院・退院の連絡をもらった時
- ・退院カンファレンスの連絡がいただけ在宅生活の準備ができた
- ・入院時の電話連絡や入院の様子を詳しくやり取りができた
- ・入院・退院時連絡をいただき伝えることや相談ができた時。退院される日や状態がわかった時

[3 町]

- ・入院時に病院からの連絡が以前より増え、連絡も早くなった。また、退院時の連絡も早めになったとき。
- ・入退院時の連絡がスムーズなとき。
- ・入院時の連絡が、病院や家族、事業所より連絡が入ってから、できるだけ早く連携を行えたとき。
- ・病院より退院日の連絡があったり、状態の報告があったとき。
- ・余裕をもって連絡があり、患者の状況の説明もあり、こちらがどれくらいの日数で調整できるかも確認してくれるとき。
- ・担当直後に入院となったケースで、通院日に状態が悪化し入院となった。通院当日もサービス利用予定であったが、ヘルパー事業所から不在の連絡があり、行方が分からなかったが、病院より連絡をもらいすぐに対応できたとき。
- ・地域医療連携室の担当から連絡が入り、入院時情報提供書をすぐに送れた時
- ・入退院の当日にきちんと連絡をいただき、情報提供できたとき。

[8 村]

- ・入院の連絡を受け、入院に情報提供書を送付することによって、退院調整がスムーズに行ったとき。

2. 患者の状態確認に関すること

[1 市]

- ・リハビリ状況が確認できたこと。サービスにつなげていけたことがよかった
- ・退院の連絡をいただいたとき ADL 等詳しく説明があり退院後の生活プランに役立つ情報が得られた
- ・病名・病状の把握ができた

[3 町]

- ・退院前に本人の状態や想いを連絡してもらえたとき。
- ・退院時に本人状況連絡を頂き、サービス変更の準備を家族と相談し、自宅での生活が安心して行えたとき。
- ・退院時に看護サマリーを頂く事が出来る

[8 村]

- ・入院の連絡時に、現在の状況や予後予測を教えていただくことで、退院後の生活に向けて調整がしやすい。
- ・入院されたことの情報提供や退院前カンファレンス開催などを案内いただいた際には事前の準備を行うにあたり時間が十分にあり調整しやすかった。まだ本人の状態が思わしくなく退院を急ぐ際にも的確な情報提供によりスピード感を持った支援が行え、在宅

でのお看取りが行えた。(がん末期で在宅を希望、的確な情報提供により保険者の認定調査も早急に入ってもらえた)

3. 連携・情報共有に関すること

[1 市]

- ・退院が近くなり在宅生活に戻る際病院と利用者の事で打合せができた時
- ・医療面介護面のサポートへのアドバイスをいただき医療視点での強化ができた時。また、医師との連携がスムーズになった時
- ・情報をいただいたと連絡くださったとき連携がとりやすくスムーズに行えた
- ・顔を合わせてのカンファレンスで情報が共有できたとき
- ・地域医療連携室の MSW が介入している場合は連携がスムーズだと感じる
- ・転院時に連絡いただくことで入院期間など把握でき退院時期が予想できる
- ・入院時より早期に病院と連携が図れ、入院時の状況や退院に向けての調整がスムーズに行えるようになった
- ・医療連携室のソーシャルワーカーさんと連携ができた
- ・状態悪化し受診ができない状況であったが連携室に相談するとすぐに救急の受け入れ態勢をとってくれた
- ・退院前カンファレンスに出た時
- ・入院前の状況を伝え入院中の状態や本人の意向などを伝えてくれることで退院後の調整がスムーズになった

[3 町]

- ・退院後のサービス調整については、いつも病棟看護師と一緒に検討してくれて、連携がスムーズにできたとき。
- ・利用者の気になっていることや今後の方向性について、話し合いができたとき。
- ・病院への問い合わせで、利用者の細やかな情報提供があり、事前に関係事業所への連絡や追加で必要と考えられるサービスを検討することができたとき。
- ・南奈良総合医療センター、五條病院、吉野病院、南和病院等の退院調整では、地域連携室の方々や訪問看護ステーションのみなさんと困難な部分を共有し、なんとか協力してやっていこうという感じでできたとき。
- ・入退院時に即応性のある情報を頂けた。これにより、退院後の生活を再建するにあたり、有効に活用できたとき。
- ・家族の状況に応じてカンファレンスを開催していただき、その後の支援がうまくいった時。
- ・ほとんどの場合、確実に、入退院の連絡があります。必要に応じて、カンファレンスも開いてくださいます。現行のサービス計画やサービス内容を伝えることで、現在のご自宅での福祉用具などの内容や、ご家族様の状況を理解していただきやすくなっていると思います
- ・入院先の病院スタッフより、提供した情報をもとにご利用者本人の状態や家族の状況等が参考になった等と、その情報をしっかり見てくれて話をしてくださり、退院時にも相談することができた。
- ・南和地域における連携は、入院時にすぐに病院より連絡があり、病状についての説明も受け、利用者への対応もスムーズにできた。

[8 村]

- ・退院前に病院の関係者(看護師・リハビリ担当者等)と入院時から退院時までの病状・体の状況等を共有でき、施設として受け入れ態勢を取ることができたとき。
- ・小規模多機能で泊まり継続中の方が、両下肢の蜂窩織炎再発のため、入退院を繰り返しています。炎症や発熱は急に増悪しやすく、通院→入院となる場合があります。受診時に予め、直近の様子やこれまでの経緯などを記載しておけるので、急な入院の時

もあわてることなく対応できるので助かります。

- ・退院時にカンファレンスを行っていただき、退院後のサービス調整、医療との連携が行いやすくなった。
- ・詳しい情報提供を行っていただき、一緒になって在宅復帰の解決方法を考えたり、サービス調整の支援を行っていただいた時は連携できたと感じる。

4. 医療・福祉サービス計画等に関すること

[1 市]

- ・退院前に連絡をもらうことであらかじめ介護計画変更の必要性を判断できる
- ・退院前にカンファレンスもしくは情報をもらいスムーズに在宅支援が行えた
- ・住環境やサービスを必要なところにスムーズにつなぐことができた
- ・病状から必要なサービスや家族でできることを確認した
- ・必要な情報のやり取りができその情報をもとにサービス調整がしやすくなった

[3 町]

- ・退院時の状況や退院後に医療サービスに繋げる時にスムーズに調整が行えたとき。
- ・退院前、適した時期に連絡を頂くことにより、十分にサービスなどの調整ができるようになったとき。
- ・退院前に住環境を確認してもらい、手すり等を退院時に整える事ができたとき。
- ・退院前に病院から直接受け、事前にサービス調整の時間がとれた時
- ・(退院時)入院中の情報提供により、退院時のサービス調整が上手くいったとき
- ・退院後の調整で施設入所で進めていたが、本人希望で在宅となった。入院中に訪問サービス調整ができたので、何とか在宅の継続ができています。
- ・入退院の状況が詳しく把握でき、退院後のサービス調整の準備ができる。

[8 村]

- ・状態が理解でき、退院までに環境整備などの調整ができた。
- ・退院時に連絡をもらうことにより、在宅生活の受け入れ体制の構築がスムーズに行えた時
- ・退院カンファレンスが開かれ、退院後の生活についてプランが見えたことで住環境を早めに整えることができた。

5. その他

[3 町]

- ・退院後、入院前と同じような生活状況になったとき。
- ・利用者や家族が、安心して入退院を行えたと思えたとき。
- ・スムーズな調整ができたとき。
- ・利用者さんの状態が悪化せず、退院できた時、入院中でも出来るだけ家での習慣を継続できていた時。
- ・南和エリア以外でも様式が受け入れられたことも踏まえてもっと広域化されたと感じました
- ・入院により御本人の病状変化はあるもののスムーズに退院ができる

【実施状況の経過】

	H30.6		R1.6		R2.6		R3.6		R4.6		R5.6	
南和地域 4 病院からの退院調整の連絡状況	39	59%	51	84%	51	85%	48	91%	51	86%	54	79%
ケアマネジャーから病院への入院時情報提供書の提出	72	70%	72	87%	71	71%	75	85%	74	88%	73	71%

